

## 「修士論文作成に取り組まれる皆さんへ」

社会福祉学専攻 石川 由紀（令和元年度修了）

私の場合、修論作成の過程には常に落とし穴がありました。しかし他人の失敗から得られるものもあるはず。皆さんはぜひともお気を付けいただければと思います。

### 1 目標にたどり着くルートを常に確認

入学時は自分の研究目的や内容・方法が明確になっていたと思っていたけれど、実は遠くのエベレストを見てサクッと登頂できると思っていたことに改めて気付きます。特に私はアンケートを集計した後、その分析についての見通しが甘々でした。アンケートをとると決めた時点で先生とも相談して内容を吟味し、どのような方法で分析するか十分考え、相談しておくべきだったのです。しかし当時はアンケートを出すのが精いっぱいでした。

おかげで集計したデータの分析をある程度進めた段階で分析方法が違うと判り、すべてやり直す羽目になりました。どのルートを通して登頂するか準備を怠ると遭難します。また時々、自分が進む道が目標から逸れていないかを確認することは大事です。

### 2 資料収集 あれこれ

大学の図書館はぜひぶん活用しました。最初は書庫に入って自分で資料を探したのですが、書庫は寒くてほこりっぽく、電気を点けても薄暗いので多くの意味で不安になります（私の同僚は、かつてここで他人が動かした書棚に挟まれたそうです）。私は必要な資料を事前に opac で検索してきてカウンターで資料請求していました。書庫では目的の資料以外のもに触れ、新たな発見もありますので、大丈夫だという方は気にせず入ってください。

書庫に入る際にはマスクと軍手、眼鏡、冬場は防寒着もしくはカイロの持参をお勧めします。

資料検索は先に集めた資料やネットからの芋づる式が多かったと思います。自分の研究に関連がありそうなものをたどると様々な発見もあります。この時、自分ならどう進め、まとめるかを考えながら資料を読むと良いかと思います。また学会等に参加するのも多くの発見があり意欲も高まるのでお勧めですが、ここ数年は台風等により学会が打ち切りや中止となり、帰宅困難になる可能性もある（私です）ので注意が必要です。

### 3 面談指導を有効に

面接指導では、事前に余裕をもって資料と質問事項を送っておくのは必須です。当日までにさらに質問したいことや迷いも出てくるので、それも当日確認すると以後の修論作成に役立ちます。迷っていても先生と話しているうちに考えがまとまり方向性が見えてきます。頭の中でぼんやりと点で捉えていたものが明確になり、線でつながるとでも言うべき感覚です。おかげで私は「修論がまとめられる！」と根拠のない自信をもって毎回の面接指導を終えることができました。

通信指導では質問事項の指導が中心ですが、面談指導では先生の研究内容からアンケー

トに対してクレームが来た時の心の持ちように至るまで、実にたくさんのもので得ることができました。特に中間レジュメを出してからは、どんどん執筆を進めて質問し指導を受けられると（私はこれができるまででしたが）、最後まで余裕をもって修論に向き合えると思います。

#### 4 この3月に修了した方々から一言

- ・早めの取組！この一言に尽きる。
- ・仕事をしながらになるので隙間時間をうまく活用。
- ・文献要約集を作っておく。番号を振り優先順位で色分け。
- ・あらかじめ質問や考えをまとめておく。
- ・LINEグループで、励ましと自分の見落としや勘違いを指摘してもらえたことは良かった。

仕事や自分の生活と学業との両立は困難さもありますが、だからこそ見えるものやわかることがたくさんあるのだと思います。今年は特に思い通りにいかないこともたくさんあるかと思いますが、皆さんそれぞれがご自身の研究に向き合い、納得のいく修論を完成されますことを心よりお祈りしております。